



プレスリリース

世界スポーツ用品産業連盟（WFSGI）、ボストンで2026年総会を開催し、ナイキとニューバランスが率いる新理事会を選出

即時公開

- スポーツ用品業界の最高幹部が集う会合が、初めて米国で開催される
- 理事会のリーダーシップが米州へ移管され、連盟にとって刺激的な新たな戦略サイクルが始まる
- WFSGI総会、ビジネスの成長、より健康な社会、そして地球を重視した新たな戦略計画を採択
- 改訂版WFSGI行動規範が会員により承認される

B 2026年4月22日、ボストン - 世界スポーツ用品産業連盟（WFSGI）は昨日、マサチューセッツ州ボストンで年次総会を開催し、今後3年間の新たな理事会および共同議長を選出しました。

ニューバランス・アスレチック・スタジアム内の「THE TRACK」で開催された本イベントには、世界最大手のスポーツ用品企業の最高経営責任者（CEO）や上級幹部が集まり、新理事会の選出および新たな3カ年戦略計画の承認が行われました。

ニューバランスの最高執行責任者（COO）であるデイブ・ウィーラー氏と、ナイキの広報・公共政策担当最高責任者であるホルヘ・カシミロ氏が、新WFSGI理事会の共同議長に選出されました。これにより、2つの米国ブランドが共同で連盟を率いるのは今回が初めてとなります。

ニューバランスとナイキは合わせて、米国スポーツ用品産業の礎を成しており、同産業は米国経済に数十億ドルの貢献を果たし、数十万人の雇用を創出しています。

ニューバランスを代表して、2026年のWFSGI総会を主催できることを光栄に思います。また、当連盟の歴史においてこれほど重要な時期に共同議長に選出されたことを大変誇りに思います。ボストンに集結した素晴らしい加盟各社の皆様は、私たちの新たな3カ年戦略計画が持つ、未来を見据えた強さの証です。私たちは、スポーツの力を高め、世界中の個人やチームにプラスの影響を与えるという、またとない機会を手にかけています。スポーツ用品業界全体で持続可能なビジネス成長を実現するため、政策の策定、アジェンダの設定、そして共同行動の推進に向けて、チーム一丸となって取り組んでいく所存です。」

— デイブ・ウィーラー、ニューバランス COO (Dave Wheeler)

「世界を動かすこの業界を率いるという、計り知れない名誉と機会を私たちは手にしています。WFSGIは1978年以来、スポーツ界の最前線に立ってきており、この理事会とリーダーシップチームは、その道のりで数十億の人々を鼓舞する素晴らしいスポーツの瞬間を創出しつつ、私たちを創立50周年へと導いていくでしょう。世界がこれまで以上にスポーツを必要と



していることは明白であり、これをすべての人々の現実のものにするのは、私たち全員の責任です。

— ホルヘ・カシミロ、ナイキ チーフ・パブリック・アフェアーズ&パブリック・ポリシー・オフィサー (Jorge Casimiro)

今年の総会の開催時期と開催地には、特別な意味が込められています。ボストンは、3カ国にまたがる初のワールドカップとなる2026年FIFA男子ワールドカップの7試合の開催地の一つであり、米国はスポーツ界にとって前例のない10年を迎えることを楽しみにしています。

「2028年のロサンゼルス五輪・パラリンピックから、2031年と2033年のラグビーワールドカップ、そして2034年のソルトレイクシティ冬季五輪に至るまで、米国は今後10年の大半においてスポーツ界の中心地となるでしょう。本日この場にお集まりのブランドや経営陣の皆様は、業界の成長と持続的な参加の遺産を築くため、これらの重要な局面において業界がどのように関与していくかを形作る一翼を担うことになるでしょう。」

— エマ・ズウィーブラー、WFSGI CEO (Emma Zwiebler)

WFSGI新理事会（2026年～2029年）

デイブ・ウィーラー氏とホルヘ・カシミロ氏は、WFSGIのCEOであるエマ・ズウィーブラー氏と共に、南北アメリカ、アジア・オセアニア、ヨーロッパ、アフリカの各地域から選出された31名の新理事会を率いることになります。新たに選出されたWFSGI理事の全リストはこちら[をクリック](#)してください。

新たに選出された理事会は、業界にとって極めて重要な局面で舵取りを担うことになります。WHOによると、11歳から17歳の若者の81%が推奨される身体活動レベルを満たしておらず、運動不足の増加や気候変動の課題により、2030年までに世界の業界収益は最大1,690億ドルのリスクにさらされています。

退任するWFSGI会長で、ペントランド・グループの副会長を務めるアンディ・ルービン氏は次のように述べました。「過去3年間、増加する身体活動不足率への対処に向けて業界を一致団結させるべく、素晴らしい取り組みが行われてきました。新WFSGI理事会は、民間および公共部門双方において、この健康および社会的な危機に対処するため、断固とした協調的な行動を引き続き推進していくと確信しています。」

新たな戦略計画が道筋を示す

総会ではまた、世界のスポーツ用品業界が直面する課題の規模と緊急性を反映した5つの柱を軸に、2029年までの連盟の指針となる新たな戦略計画の採択が可決されました。

第1の柱である「スポーツ、身体活動、運動の促進」は、身体活動不足という危機を連盟の最優先課題と位置づけ、より多くの人々に体を動かすよう促し、業界の持続可能な成長を支援するために、統一的かつ体系的な影響力を発揮することを約束するものです。これと並行して、「自由で公正な貿易の推進」は、世界中の企業が良好な事業環境を得られるよう、貿易障壁の解消と多国間主義の支援をWFSGIに課すものです。

また、本計画では「持続可能なビジネスの実現」を掲げ、ESGに関する業界の基準を満たすためのコンプライアンスおよび規制対応ツールを会員に提供することを約束しています。総会では、グローバル基準および新たなESGリスクに対応するため、改訂された行動規範が承認されました。本規範は、国際労働機関（ILO）の条約、国連ビジネスと人権に関する指導原則、およびOECDガイドラインに準拠しており、会員との綿密な協議および外部による法



的審査を経ています。本規範は今後数週間以内に会員へ展開され、中国語（簡体字）、ベトナム語、ベンガル語、スペイン語、タイ語、インドネシア語、日本語の7言語で提供されます。

第4の戦略的柱である「国際スポーツおよびサイクリングにおけるグローバルな影響力の拡大」は、スポーツ用品セクターを国際スポーツにおける重要な戦略的パートナーとして位置づけるものです。第5の柱である「製品のコンプライアンスと法務の卓越性」は、法務、デジタル、および製品のコンプライアンスにおけるベストプラクティスへの業界の取り組みを強化するものです。

これら5つの柱は、世界的なスポーツ用品業界を団結させ、代表し、ビジネスの成長と、すべての人にとってより健康的で活動的な地球を実現するという明確な目的によって支えられています。

火曜日にボストンで開催された会合は、多くの点で、地理的にも視点的にも多様でありながら、目的において団結した、業界の最高の姿を映し出すものでした。今後3年間の戦略サイクルに向けた新たなリーダーシップ体制が整い、WFSGIは世界有数のスポーツ用品企業の総意を背に、新たな章へと踏み出します。今後の課題は重大ですが、スポーツ、身体活動、そして動きが個人、地域社会、そして世界にもたらす可能性に対する共通の信念もまた、同様に重要なものです。

##END##

WFSGI 報道担当： リンダ・マーフィー（WFSGI コミュニケーション責任者）

lmurphy@wfsgi.org

WFSGIについて

世界スポーツ用品産業連盟（WFSGI）は、スポーツ用品産業のための世界的な非営利業界団体です。WFSGIは、国際オリンピック委員会（IOC）から、オリンピック・ムーブメントにおける業界代表として正式に認定されています。当連盟の会員は、スポーツおよびスポーツにインスパイアされたレジャーブランド、メーカー、サプライヤー、小売業者、各国・地域の連盟、業界団体および業界協会で構成されています。これらは、年間売上高ベースで世界の業界の約70%を占めています。WFSGIの目的は、世界のスポーツ用品業界を結束させ支援し、すべての人々にとってより健康的で活動的な地球を実現することです。 www.wfsgi.org